



復刊第162号
題字 吉岡 彌生

巻頭言

副会長 橋川 ふさ子

陽春の候、先生方にはご清祥のことと存じます。
本年は二十世紀最後の年でございます。女医学会としましては二十一世紀に向かつて明るい未来の発展の礎をしっかりと築く年にしたいと考えております。

今年には介護保険元年といわれ、いよいよ介護保険制度が4月から発足しました。やっと概要規程が発表されました。事前準備として要介護認定作業が進められています。医療と介護のすみわけがどのようにされるか注目されています。医療も今までのように縦割りではなく、福祉と医療をうまく組合わせていかなければと思えます。

介護保険制度の実施には医師の参画、協力が重要でございます。患者

ございますので、この4月の診療報酬改正には現場医師は引上げを願っていましたが、現実はどうでしょうか。中医協によれば0.2%上がったと出ていますが実際には年々外来の受診者数が減少していますし、何と年間平均七〇万―一三〇万くらいの事業所得の減少になるという試算が出ています。それに個人開業医の事業所得とサラリーマンの給与所得が同じであるという誤解に基づいた医師へのバッシングが続いており、改善されないままになっております。

皆さんに対する相談と助言、主治医の意見書、介護認定審査委員、介護指示指導等と医師の役割は多事になりますので、今までのように専門外だからというわけにはいかななくて、他の医師との密接な連携がより必要になってきますし、ハイテク医療にも慣れなくてはならない現状になりました。

女医学会ではハイテク医療に適應するインターネットの扱い方の第1回パソコン教室を新年早々に開催しましたところ予定以上の参加があり盛況でございました。好評にこたえて第2回を3月にもう一度開催いたしました。このように先生方のニーズに合った教室を今後も企画し開きたいと思っております。

女医学会会員は半数以上が開業医で

さて、5月20日には定時総会が開かれますので、先生方の多勢のご出席をお願い申し上げます。二年後には日本女医学会創立一〇〇周年の記念行事が催されますし、四年後には国際女医学会も日本に誘致し開催する予定でおります。今年には役員選出の年に当ります。積極的に活動が出来るようになる若い先生や、経験豊富な先生方のご活躍に期待しております。
女医の必要性が理解されてきました。昨今、さらなる女医学会の発展躍進を期するには、行政に参入して交流を密にしなければという気運が高まってきました。女医を国会へ送ろうという声があちこちから挙げてきました。そうした時流に乗り遅れないためにも、女医会員の増強と結束がより一層望まれます。今後ともよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

もくじ

巻頭言……………橋川ふさ子 (1)

各部報告

庶務部……………鹿田 儀子 (2)

会計部……………川田喜代子 (2)

学術部……………平敷 淳子 (3)

事業部……………丸茂 晶子 (3)

渉外部……………田中 蘭子 (5)

広報部……………大坪 公子 (5)

第13回ワークショップ

「児童虐待の現状とその予防」を開催して……………大澤真紀子 (7)

子どもの虐待への対応……………奥山真紀子 (7)

我が子を虐待する母親への援助……………野村 一枝 (8)

児童虐待の法律的背景……………渡邊 淳子 (8)

インターネット講習会

働く女医の夫の会……………吉崎喜美子 (10)

「女性医師を応援するホームページ」を開設して……………藤巻 高光 (10)

「種痘法に見る医の倫理」を書いて……………木戸 道子 (11)

小田泰子著「種痘法に見る医の倫理」……………小田 泰子 (12)

小澤裕子著「心はいつも元氣印」に思う……………野澤 良美 (13)

北里評伝劇「怒濤」を観て……………佐々木和子 (14)

……………稲生 襄 (14)

〈私の大学〉 高知医科大学……………奥谷 文乃 (15)

・新医学用語豆辞典…………… (2)

・日本女医学会第45回定時総会のお知らせ…………… (3)

・平成12年度公開演説会のお知らせ…………… (8)

・東京女子医科大学第19回公開医学講座のお知らせ…………… (12)

・山崎倫子先生、第28回医療功労賞受賞…………… (13)

・理事会議事録 (11月、12月、1月)…………… (17)

・会員動静…………… (18)

・編集後記…………… (18)

各部報告

庶務部

鹿田 儀子

○平成9年度
*総会II東京都支部連合会主催。京王プラザホテルにて開催。佐藤千代子会長他新役員決定。いつもながら東京都支部連合会会長を初め、会員皆さまのきめ細かな心配りに感謝。国際女医学会開催国立候補の件。女医の環境整備小委員会設置。
*佐藤千代子会長長病気のため辞任。
*会員名簿発行
○平成10年度
*総会II栃木支部主催。宇都宮ロイヤルホテルにて開催。栃木支部の心のこもった運営に感謝。佐藤会長辞任のため補欠選挙、橋本葉子会長・橋川ふさ子副会長長承認。
*働く女性医師の環境整備に関する要望書提出。
*日本医師会主催の懇談会出席。
*日本女医学会百周年記念事業準備開始。
*国際女医学会IIブラジル、サンパウロにて開催。
*第1回ブロック別懇談会開催。
○平成11年度

会計部

川田 喜代子

*総会II北海道支部主催。ロイトン札幌にて開催。ライラックの花満開の札幌での総会は活気あり、支部長と会員の多大な力に感激し、感謝。
*日本人ペルー移住一〇〇周年記念の行事に出席。
平成6年より超ベテランの青井、栗原両理事と新進気鋭の西嶋理事とともに会計となり、平成9年度に西嶋理事が学術部へ出られたあと、引き続き三人で会計を担当して参りました。
もともと地区医師会(大阪市浪速区)や同窓会の会計理事を長くやっておりましたので何となく会計のお手伝いをと希望したのですが、バブル崩壊後の緊縮財政は日本女医学会計にも影を落として何かと厳しい現状がつづいていて、お二人の先輩にいろいろ学ばせていただきながらの六年間でした。
その間、大きな節目がございました。

三年間は、内外ともに多くの問題があり、また一〇〇周年記念事業・国際女医学会の日本への誘致と、これからの問題が山積しています。若い会員の協力を期待したいと思います。
*トルコ・台湾地震義援金を送る。
*第2回ブロック別懇談会開催。
*女医の環境整備小委員会は要望書を小淵総理をはじめ、関係部署に届け、その後アンケートをとり活動中。
*未来館相談室のカウンセラーに女医会会員より推薦活躍中。
まず第一に平成7年度総会にご承認いただきました十五年ぶりの会費の値上げ(年八〇〇〇円から一二〇〇〇円へ)です。
第二に会費の納入方法について銀行口座の自動振替制度の導入がございます。現在約半数以上の方々はこの制度で納入していただき会務の運営の安定をはかることができました。この二つの件に関する会員の先生方の深いご理解とご協力に、会計一同感謝するとともにその使途及び予算の編成についてさらなる重責を感じている次第です。
しかし、この三年間の入金状況をみてみますと、完納率は78%・85%と上って参りましたが、会員数の減

新医学用語辞典

Nogo遺伝子(神経の修復を阻む遺伝子)

中枢神経系の再生は医療の夢である。最近、神経軸索を取り囲む脂質に富んだミエリン鞘が、ニューロンの再成長を妨げていることが観察され、ミエリンがかかわる神経成長阻害機構の解明が急がれている。ここに登場したのがNogo遺伝子である。これは中枢神経白質に存在する軸索伸長抑制活性を持つ幾つかの物質の一つの成分NI-250であることが同定され、NI-250に対するモノクローナル抗体IN-1を中枢神経系の損傷後に投与すると、軸索伸長や補償的可塑性を促進することが明らかになった。Nogo遺伝子は今まで知られていなかった遺伝子の一つで、少なくとも三種のタンパク質(Nogo-A、-B、-C)を指令している。Nogo-Aはミエリン関連の神経突起伸長阻害因子で、モノクローナル抗体IN-1の抗原である。Nogo-Aは中枢のオリゴデンドロサイト(希突起膠細胞)に発現しているが、末梢のシュワン細胞には発現していない。神経の再成長の阻害という複雑な過程を解明する道のりは未だ遠いが、Nogo遺伝子の研究は、将来、神経を再成長させたいときに阻害を解除する方法の発見に繋がることが期待される。

少により、残念ながら入金総額はあまり増加がみられない現状でございます。今後ともいろんな角度からの会員増強に諸先生方のお力添えとご協力をぜひともよろしくお願いいたします。
さて、新しい試みの一つとして、平成10年度特別会計として「ポランティア基金」を設けました。皆様からの浄財による阪神淡路大震災義援金の残金とパプアニューギニア救済金の残金の合計一、五一〇、二九四円、その中からトルコ地震の救済金三〇万円、台湾大地震救済金五〇万円をタイムリーに送金することができました。今後も機会があることにこの基金を積立て、非常の際の備えとしていけたらと思っておりますのでご協力の程よろしくお願いいたします。
また、東京都支部連合会と久保田から先生のご寄付によりホームページを開設いたしましたので皆様のご利用をお待ちしております。
最後に、各部の事業の合理化と経費節約をお願いするとともに、会員の先生方に今後とも変らないご支援を心からお願ひ申し上げます。

学術部

平敷 淳子

学術部は橋本会長のもと、大澤真木子、澤口彰子、西嶋撰子、平敷淳子のメンバーで、平成9年5月から平成12年3月までの間に合計六回の講演会、ワークショップを行いました。歴史的に女医の卒業生の多い代表的な医学部の同窓会長や学長の歴任者の先生方の重みのあるお話、シヤーカーステンを設え、フィルムを用いた若い講師によるワークショップ、子供の虐待の問題では他分野の講師の先生方のご協力を得て、いずれも盛会にとりおこなわれました。これらの会には国公私立八十校の女子医

学生に学校経由で参加を呼びかけ、毎回参加していただくことができました。吉岡弥生賞、学術研究助成も従来どおり行うことができました。とくに研究助成は女医会の魅力のポイントのひとつであり、応募者は十名近くと増加していますが、助成できる数は二、三名と少なくなっています。苦しい財政的側面が新しい問題です。
2004年の国際女医学会誘致に向け、テーマの決定も学術部に任せられた仕事のひとつです。

事業部

丸茂 晶子

平成9年度より平成11年度まで三年間の事業部の事業について申し上げます。
一、地域医療奉仕への助成
○平成9年度(該当なし)
平成8年11月地域医療奉仕助成について作成された規約により同一団体に三年以上継続助成しないこと。できるだけ多くの団体を助成対象としたい。上記の理由によって今回は該当団体がなかった。
○平成10年度

・北海道・堀口貞子先生による障害児療育事業を行う「マザーグースの会」
○平成11年度
・愛知県女医会の皆さんによる「婦人と子供の健康を相談する会」に決定
二、公衆衛生——全国各地において公開講演会を行う(一般を対象とした啓蒙運動)
○平成9年度
・平成10年2月7日、於仙台市141

社団法人 日本女医学会第45回定時総会のお知らせ

総会まであと一ヶ月となりました。先生方にはますますお元気で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。すでにお申込みいただいておりますが、第45回総会を左記の日程のように開催いたします。

Table with 3 columns: 日 (Date), 時 (Time), 場所 (Venue). Includes dates like 平成12年5月20日(土) and venues like 京王プラザホテル.

- 5月19日(金)
一、観劇 歌舞伎座 昼の部 (11時開演)
二、大相撲五月場所見学 マス席 費用 四〇、〇〇〇円
三、前夜祭 京王プラザホテル(午後6時より)
お楽しみを用意しております。費用 一三、〇〇〇円

- 5月20日(土)
一、朝食会 懐かしい方々と楽しく朝食を一緒にしましょう。ホテルにご宿泊なさらない方も、是非ご参加ください。費用 三、〇〇〇円
二、お茶席 おいしいお菓子とお抹茶で疲れを癒してください。(土曜日終日)
三、懇親会にご出席の皆さまのために、上原まりさんによる筑前琵琶の演奏をお楽しみいただけます。

- 5月21日(日)
一、ゴルフコンペ 武蔵ヶ丘カントリークラブ 9時45分スタート
二、観劇 歌舞伎座 團菊祭五月大歌舞伎
夜の部 11時開演
昼の部 16時開演
前進座歌舞伎五月国立劇場公演
昼の部 11時開演
費用 一四、七〇〇円
費用 九、五〇〇円

社団法人 日本女医学会 / 東京都支部連合会

がであった。

②平成10年、芝居「命燃えて」(新橋演舞場)鑑賞券販売三八五、九五〇円の売上

渉外部

2000年の幕が明けた。振り返って見ると、1900年代の後半は女性の社会進出に伴って、女性の人権が重視され、社会の法則も見直しを迫られ、今ではもう当り前のこととなった婦人参政権を始めとして、この数年は追い込みのように、男女雇用機会均等法、続いて男女共同参画社会基本法が国会で可決され、ようやく男女平等の意識が表舞台に出るようになったと考えるのは私だけではないと思う。しかしこれだけ男性優位の世界で社会の法則が定められていた時代が終わったと思うのは早計で、これからが本当に女性の實力を試される時で、男性と同じ土俵に上って、本音で勝負できるようにするために研鑽を積み重ねなければならないと思うが、ともかくも、表立って物がいえるようになったことは、御同慶の至りである。

女医会としては、人数も多くなつた若い女医たちに期待したい所である。たまたま3月11日のY紙によればフランスで女性の政界進出を促すための「男女同数法案」が下院を通過したとのことである。男性支配の

より分析、現代の問題として問い直した大変意欲的な催しであった。

平成11年2月11日、於千葉県医療センター

テーマ「健やかに楽しむ長寿社会(心と心臓の専門化に聞く)」

講師・東京女子医大神経精神科教授・田中朱美氏、同循環器内科教授・楠元雅子氏

司会・東京女子医大神経内科教授竹宮敏子氏

市街地から比較的遠い会場、しかも大雨ふりという悪条件にもかかわらず、多数の聴衆をあつめた千葉県女医会会員のご努力に敬服。明快に説かれる講話は聴衆に大変有益であった。

○平成11年度

平成11年10月23日、於福岡市エルガーラ7階中ホール

テーマ「性と女性の健康を考える」

「内科医から見た男と女の更年期」女性成人病クリニック院長・村崎芙蓉子氏

「ピルと女性の健康を考える」性と健康を考える女性専門家の会会長・堀口雅子氏

講師同士できわめてザックバラに本音で話しを進めるといふ目新しい進行で、聴衆の注目を集めた。

三、荻野吟子賞

平成9年度総会において

佐分 妙氏(名古屋)

平成10年度総会において

小林梅子氏(山梨県)

南里菜子氏(栃木県)

③インターネット講習会・平成12年1月、六〇名、3月三五名参加。

七、風土社編集の雑誌「いきいき」への会員よりの執筆協力

田中蘭子

強いフランス政界も、ベルギーを始めとする北欧諸国より起った波に押されてついにの感がある。仏マスコミでは、1944年の婦人参政権、1970年代の墮胎法成立について、男女格差是正の第三の革命と評価しているそうである。わが国の政界にもいざれ押し寄せる波であろうとは思いますが、これからは他の女性団体との連携を密にして、大きな波となるよう努力しなければならぬと考えると、渉外部の役割りは重いものだと改めて自覚し、緊張している幕明けの日々である。

日本女医学会誌を年に四回(1月、4月、7月、10月)発行しています。会誌は、①女医会の活動が正しく会員に伝わること、②女医会の進むべき道が示されることを大きな目標として編集してきました。

平成9年、前編集人、稲生 眞先生より引き継ぎ、身の引き締まる思いで、会誌作りをしてきました。

理事のメンバーは三名です。宮城支部の佐々木和子先生は、遠い所から割り付け会議、校正会議によく出席下さいました。文章を読みやすく正しく直すのに力を発揮されました。埼玉支部の村田 郁先生は休むことなく出席され、私たちの夜の弁当を用意してくださいました。楽しい会の雰囲気になりました。

なんとといっても橋本葉子会長が、

平成11年度総会において

須藤昭子氏(都下東)

四、支部助成—各年度会費納入者一名につき二〇〇円を助成

五、年金

平成9年度・新加入者七名(七七口)、中途解約者二名(一五八口)減額口数(九口)、年金給付開始一七名(二五七口)、年金給付完了者二〇名(七〇口)

平成10年3月31日現在 年金総加入者 積み立て中二五〇名(三二一五口)、給付中二〇〇名

平成10年度・新加入者なし、中途解約四名(五八口)、年金給付開始二三名(五三三口)、年金給付完了二二名(五九口)

平成11年3月31日現在 積み立て中二三三名(二六三四口)、給付中二〇一名

年金委員会・平成9年度に入り、金融状況はますます悪化し、新加入者もなく、平成11年度まで安田信託の担当者呼び、数回の会合をもつた結果、このまま年金事業を続けることの困難と不利を安田信託の方からも言われ、加入者に損害を与えないうちに年金を解約するという苦渋の決断をくださざるを得ず、平成12年2月をもってすべての契約を解除することになった。

六、その他の事業

①バザー・平成9年度総会において会員諸姉のご芳志により、二二八六〇〇円の収益。平成11年度においても同様に二四四、五〇〇円の収益

大坪 公子

会に出席して下さり、直接アドバイスをして下さったことが私たち広報部としてはもっともありがたく思うところ。広い視野からいろいろなお話を聞くことができました。

本部事務局の霜田さんが原稿集めその他、すべての用意をしてくれてあります。心から感謝しています。金剛出版の淵上さんが影の力として支えてくれています。

第162号からは、会誌に初めて広告が登場します。財政難のためとはいえ、皆様に受け入れていただければどうか心配しています。

日本女医学会誌は読みやすく、活動内容が良くわかり、しかも格調高い女医の広報誌でありたいと願っています。

経口用セフェム系抗生物質製剤

指定医薬品、要指示医薬品^{※1)}

フロモックス®

錠 75mg・100mg
小児用細粒 100mg

日抗基 塩酸セフカペン ピボキシル錠/細粒 略号 CFPN-PI

注1) 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

■薬価基準収載
■「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」、「原則禁忌」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

【資料請求先】 塩野義製薬株式会社 医薬情報本部 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12-4

シオノギ製薬
大阪市中央区道徳町3-1-8 〒541-0045

ル・スタジオホール

テーマ「パリアフリー」シンポジウム形式で施行

講師・東北大学工学部建築学科学科教授・近江隆氏、国立特殊教育総合研究所視覚障害教育部長・木塚衆弘氏、東北福祉大学生・伊藤清市氏

障害者の立場から話された内容は説得力があり、感銘深く、パリアフリーの必要性が強く印象づけられ、大変有益な会であった。

平成10年3月14日、於群馬県高崎市ホテルメトロポリタン

テーマ「紫外線とスキンケア」

講師・群馬大学医学部皮膚科教授宮地良樹氏

紫外線の害についてきわめてわかりやすく、科学的に説明され、益するところが大きかった。

○平成10年度

平成10年10月17日、於札幌市かでる2-7

テーマ「いま荻野吟子を問います」シンポジウム形式

講師・

「女医への苦難の道」北海道女医会理事・三谷桂子氏

「渡道の経緯と軌跡を追って」札幌女性史研究会・海保洋子氏

「女性解放者荻野吟子の精神を貫くもの」北海道情報大助教授・札幌女性問題研究会・広瀬玲子氏

「リプロダクティブヘルスの先駆者としての荻野吟子」女のスペース・おん世話人代表近藤恵子氏

荻野吟子の生涯をさまざまな視点

平成11年度

平成11年10月23日、於福岡市エルガーラ7階中ホール

テーマ「性と女性の健康を考える」

「内科医から見た男と女の更年期」女性成人病クリニック院長・村崎芙蓉子氏

「ピルと女性の健康を考える」性と健康を考える女性専門家の会会長・堀口雅子氏

講師同士できわめてザックバラに本音で話しを進めるといふ目新しい進行で、聴衆の注目を集めた。

三、荻野吟子賞

平成9年度総会において

佐分 妙氏(名古屋)

平成10年度総会において

小林梅子氏(山梨県)

南里菜子氏(栃木県)

平成11年度総会において

須藤昭子氏(都下東)

四、支部助成—各年度会費納入者一名につき二〇〇円を助成

五、年金

平成9年度・新加入者七名(七七口)、中途解約者二名(一五八口)減額口数(九口)、年金給付開始一七名(二五七口)、年金給付完了者二〇名(七〇口)

平成10年3月31日現在 年金総加入者 積み立て中二五〇名(三二一五口)、給付中二〇〇名

平成10年度・新加入者なし、中途解約四名(五八口)、年金給付開始二三名(五三三口)、年金給付完了二二名(五九口)

平成11年3月31日現在 積み立て中二三三名(二六三四口)、給付中二〇一名

年金委員会・平成9年度に入り、金融状況はますます悪化し、新加入者もなく、平成11年度まで安田信託の担当者呼び、数回の会合をもつた結果、このまま年金事業を続けることの困難と不利を安田信託の方からも言われ、加入者に損害を与えないうちに年金を解約するという苦渋の決断をくださざるを得ず、平成12年2月をもってすべての契約を解除することになった。

六、その他の事業

①バザー・平成9年度総会において会員諸姉のご芳志により、二二八六〇〇円の収益。平成11年度においても同様に二四四、五〇〇円の収益

遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤

劇薬、指定医薬品、要指示医薬品：注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

EPOGIN®

エポジン® 注

750 6000
1500 9000
3000 12000

EPOGIN® Injection 一般名：エポエチン ベータ(遺伝子組換え)

※効能・効果、用法・用量、使用上の注意、取扱い上の注意等については製品添付文書をご参照下さい。

中外製薬

【資料請求先】
〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-9

CEP9057
1999.5

近年、女性は何にでも参加できる権利・義務・経済力を与えられ、同時に何でも思い通りになるといふ幻想を抱いてしまうほど、技術は進歩しました。反面、皆が常に忙しく、気軽に子育ての相談ができません。そんな中、育児不安、育児放棄、さらには虐待が社会問題化してきました。今、女性医師の身近で温かい実践的サポートが求められていると強く実感し、2000年初のワークショップを1月22日(土)に、奥山眞紀子先生(埼玉県立小児医療センター精神科)、野村一枝先生(社会福祉法人子どもの虐待防止センター)、渡辺淳子先生(東京弁護士会)をお迎えして、京王プラザホテルで開催しました。出席者は八五名(内同伴者二名、一般の方二名含む)、学生は二〇名でした。

奥山眞紀子先生は、虐待の概略をわかりやすく述べられ、特に子供に優しくきめ細やかに性的虐待の評価とケアを実施できる産婦人科医の不足を訴えられ、女医に切望されま

「ありのままの自分を、ありのまま褒めて欲しい。愛されたかった」とそんな悲痛な叫びが、虐待者である母たちから聞こえるといわれます。彼女たちは、子どもを憎らしいと思

う自分を責め、でもそれを誰にもいえず苦しんでおります。そこに悪循環がおこり、虐待がエスカレートしていくこと、誰にでも子どもを憎らしいと思う瞬間はあり得ることを知り、自分だけではなとホッと、自分を責めることなく、苦しさを受け止めてくれる治療者に巡り会い、自分と同じように虐待をしてしまった女性たちのグループの中で、自分の苦しみを、辛かった幼児期の体験を吐露し、共感しあい、そこで彼女たちの心は再び幼児期に戻り、幼児期に戻った彼女たちをありのまま受け入れ、愛してくれる人々に支えられ、幼児期に満たされなかった気持ちを癒して、立ち直りの道を歩み始めると述べられ、われわれの心をゆすられました。

渡辺淳子先生は、児童福祉法第25条に、国民の義務として、虐待されている子どもを見た児童相談所に届ける義務があること、それは医師の秘密の守秘義務を超えることを強調され、女医が中心となって動く必要性を力説されました。

子どもへの虐待への対応

埼玉県立小児医療センター保健発達部、精神科 奥山眞紀子

近年、子どもへの虐待が注目されている。全国の児童相談所が受けた相談件数は1998年度には1990年度の約七倍に増加している。虐待への認識が高まっているが、実際の虐待の増加も否定はできない。また、現在国会で虐待に関する法律の整備が検討されており、医師に対してはより強い通告義務が課せられる可能性が高く、医師としては避けておれない問題である。

虐待は一般的に、身体的虐待(暴行を加えること)、ネグレクト(子どもにとって必要なケアを与えないこと)、性的虐待(子どもにとって過度の性的刺激を与えること)、心理的虐待(言葉での暴力や差別など子どもに心理的圧迫を加えること)、に分けて考えられている。

子どもへの虐待に関する医師の役割は①発見、②保護・初期介入、③評価、④治療・ケア、⑤予防、に分けて考えることができる。いずれも大切な問題であるが、まず発見から初期介入までをきちんとできることが大切である。

現時点ではまだまだ司法・福祉システムは不十分である。心ある医者と一緒に子どもを守る努力を

第13回ワークショップ

児童虐待の現状とその予防を促進して

東京女子医大小児科 大澤真木子

近年、女性は何にでも参加できる権利・義務・経済力を与えられ、同時に何でも思い通りになるといふ幻想を抱いてしまうほど、技術は進歩しました。反面、皆が常に忙しく、気軽に子育ての相談ができません。そんな中、育児不安、育児放棄、さらには虐待が社会問題化してきました。今、女性医師の身近で温かい実践的サポートが求められていると強く実感し、2000年初のワークショップを1月22日(土)に、奥山眞紀子先生(埼玉県立小児医療センター精神科)、野村一枝先生(社会福祉法人子どもの虐待防止センター)、渡辺淳子先生(東京弁護士会)をお迎えして、京王プラザホテルで開催しました。出席者は八五名(内同伴者二名、一般の方二名含む)、学生は二〇名でした。

野村一枝先生は、虐待防止センターの紹介をされ、虐待者である母のカウンセリングから、彼女たちは、子どもを大事だと思う一方、突然の怒りが、子どもを憎らしいと思う気持ちに沸き上がり、何も考えられなくなる。母としての自分を責めず、せめて自分の子どもを愛してあげたい、と傷ついていた時の、悲しさ、怒り、寂しさが、閉じ込められていた苦しみが、堰を切ったように溢れ出てきてしま

う自分を責め、でもそれを誰にもいえず苦しんでおります。そこに悪循環がおこり、虐待がエスカレートしていくこと、誰にでも子どもを憎らしいと思う瞬間はあり得ることを知り、自分だけではなとホッと、自分を責めることなく、苦しさを受け止めてくれる治療者に巡り会い、自分と同じように虐待をしてしまった女性たちのグループの中で、自分の苦しみを、辛かった幼児期の体験を吐露し、共感しあい、そこで彼女たちの心は再び幼児期に戻り、幼児期に戻った彼女たちをありのまま受け入れ、愛してくれる人々に支えられ、幼児期に満たされなかった気持ちを癒して、立ち直りの道を歩み始めると述べられ、われわれの心をゆすられました。

近年、子どもへの虐待が注目されている。全国の児童相談所が受けた相談件数は1998年度には1990年度の約七倍に増加している。虐待への認識が高まっているが、実際の虐待の増加も否定はできない。また、現在国会で虐待に関する法律の整備が検討されており、医師に対してはより強い通告義務が課せられる可能性が高く、医師としては避けておれない問題である。

虐待は一般的に、身体的虐待(暴行を加えること)、ネグレクト(子どもにとって必要なケアを与えないこと)、性的虐待(子どもにとって過度の性的刺激を与えること)、心理的虐待(言葉での暴力や差別など子どもに心理的圧迫を加えること)、に分けて考えられている。

子どもへの虐待に関する医師の役割は①発見、②保護・初期介入、③評価、④治療・ケア、⑤予防、に分けて考えることができる。いずれも大切な問題であるが、まず発見から初期介入までをきちんとできることが大切である。

現時点ではまだまだ司法・福祉システムは不十分である。心ある医者と一緒に子どもを守る努力を

(社)日本女医学会の皆様へ 海外旅行のおさそい

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、私共JTBでは、(社)日本女医学会会員の皆様向けの海外旅行を企画させていただきました。今回は、旅慣れた皆様のために、なかなか行く機会のない、アフリカと中東の2コースをご用意致しました。アフリカコースでは、アンボセリ・マサイマラといったケニアを代表する国立公園や野生動物保護区で、サファリ(野生動物の生態観察)をたっぷり堪能します。ヘミングウェイも愛したサファリライフを堪能して下さい。中東コースでは、ヨルダン・シリアの2ヶ国を巡ります。世界遺産にも指定された、ヨルダンのペトラ、シリアのダマスカス古代都市・パルミラ遺跡・アレppoの古代都市など見所はたっぷりです。美しいアラブの多彩な魅力を味わって下さい。両コース共、全行程にわたってベテランの添乗員が同行しますので、もちろん初めての方でも安心してご参加いただけます。是非この機会に、ご家族・ご友人の皆様をお誘いあわせの上ご参加いただけますよう宜しくお願い申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

【アフリカコース】

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2000年8月10日(木)	東京(成田)発	午後又は午前	航空機		機内食
		(ヨーロッパ内都市経由)				
2	8月11日(金)	ナイロビ着	午前	専用バス	着後: 万年雪を頂くキリマンジャロの麓アンボセリ国立公園 午後: アンボセリ着 夕刻: サファリドライブ(アンボセリ泊)	昼: ○ 夕: ○
3	8月12日(土)	アンボセリ		専用バス	朝: サファリドライブ 日中はロッジでおくつろぎください。 夕刻: サファリドライブ(アンボセリ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
4	8月13日(日)	アンボセリ ナイロビ ケニア山麓		専用バス	ナイロビ経由ケニア山麓へお泊まりは、東アフリカ唯一のマウンテンリゾート「マウントケニアサファリクラブ」です。 (マウントケニアサファリクラブ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
5	8月14日(月)	ケニア山麓 ナクル湖		専用バス	フラミンゴの楽園ナクル湖へ 夕刻: ナクル湖国立公園でサファリドライブ (ナクル湖泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
6	8月15日(火)	ナクル湖 ナイバシャ湖 マサイマラ		専用バス	野生動物の宝庫マサイマラ国立公園へ 途中、ナイバシャ湖にてポートサファリ 夕刻: サファリドライブ (マサイマラ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
7	8月16日(水)	マサイマラ		専用バス	朝: サファリドライブ 日中はロッジでおくつろぎください。 夕刻: サファリドライブ (マサイマラ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
8	8月17日(木)	マサイマラ ナイロビ ナイロビ	夜又は翌日の午前	専用バス	ナイロビへ (機中泊又はナイロビ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
9	8月18日(金)	(ヨーロッパ内都市経由)				機内食
10	8月19日(土)	東京(成田)着	午後又は午前			

【中東コース】

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2000年8月10日(木)	東京(成田)発	午後	航空機		機内食
		(ヨーロッパ内都市経由)				
2	8月11日(金)	アンマン着	深夜	専用バス	着後: ホテルへ 午前: ホテルにて休憩 午後: アンマン市内観光(ローマ円形劇場、国立考古学博物館など) (アンマン泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
3	8月12日(土)	アンマン ペトラ		専用バス	ペトラへ 途中、モーゼの純潔の地ネボ山、マダバの聖ジョージ教会に参る。また、死海の浮遊体験をお楽しみいただきます。 (ペトラ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
4	8月13日(日)	ペトラ アカバ		専用バス	午前: ペトラの遺跡観光 午後: アンマン市内観光 赤い「インディアン」の舞台にもなった古代都市ペトラを観光後、紅海のリゾート地アカバへ (アカバ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
5	8月14日(月)	アカバ アンマン		専用バス	午前: 自由行動 午後: アンマンへ (アンマン泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
6	8月15日(火)	アンマン ダマスカス		専用バス	シリアの首都ダマスカスへ 途中ジェラシの遺跡を観光します。 (ダマスカス泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
7	8月16日(水)	ダマスカス アレppo		専用バス	シリア第2の都市アレppoへ (アレppo泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
8	8月17日(木)	アレppo パルミラ		専用バス	午前: アレppo市内観光(アレppo城、考古学博物館など) 午後: パルミラへ (パルミラ泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
9	8月18日(金)	パルミラ ダマスカス		専用バス	午前: ダマスカスへ 午後: ダマスカス市内観光(国立博物館、ウマイヤモスクなど) (ダマスカス泊)	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○
10	8月19日(土)	ダマスカス発	午前	航空機	ホテルより空港へ (機中泊)	機内食
11	8月20日(日)	東京(成田)着	午前			

★時間帯の目安

★時間帯の目安

【募集要項】

- 旅行費用

コース	ビジネスクラス利用	ビジネスクラス利用(未帰国引付済)
アフリカコース	¥1,450,000.-	¥1,230,000.-
中東コース	¥1,300,000.-	¥1,130,000.-
- 費用に含まれるもの
 - ①旅行日程に明示した航空運賃及び各国空港税
 - ②旅行日程に明示したバス・ガイド・入場料料金
 - ③ホテル料金…デラックスクラスホテル1室2名基準。1人部屋ご希望の方は別途追加料金を申し受けます。
 - ④食事料金…全食付
 - ⑤チップ…団体行動に伴う一切のチップ
 - ⑥添乗員費用…全行程添乗員がお世話致します
 - ⑦手荷物運搬料金…お1人スーツケース1個

- 費用に含まれないもの
渡航手続費用、旅券印紙代、個人的費用(クリーニング、飲み物、電話、電報等)、1人部屋を使用される場合の追加料金、成田空港までの往復の交通費等
- 最少催行人員
両コース共6名様
- 募集締切日
2000年6月30日(金)(但し、定員に達し次第締め切らせていただきます)
- 申込金
100,000円(申込の後、ご請求書をお送り致します)

申込・問い合わせ



JTB海外旅行虎ノ門支店 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-26-5 虎ノ門17森ビル7階
運輸大臣登録旅行業第64号
(社)日本旅行業協会正会員
ポンド保証会員
TEL: (03)3504-3706 FAX: (03)3504-3671
旅行業務取扱主任者: 坂元 浩
担当: 高津・渡辺

内覧・体験入居随時受付



SACRA VIA 成城
高齢者用集合住宅 介護付終身利用型

セコムと森ビルが提唱する
60歳からの快適と安心の日々



レストラン
ヘルシーな特別料理から
本格グルメ料理まで
楽しめる幅広いメニュー



クリニック
24時間365日
医師と看護婦が
常駐する安心感



サロン
自由に使える
くつろぎの
スペース

お問い合わせ先は...
03-3789-2111
サクラビア成城までお気軽にどうぞ
〒157-8566 東京都世田谷区成城8-22-1

皇月の内覧会&昼食会のご案内

平成12年 5月26日(金)・27日(土)
28日(日)・29日(月)・30日(火)

開催時間 10:00~17:00

内覧会&昼食会はご予約制となっております。
ご参加のご予約、お問い合わせをお待ちしております。

Table with 3 columns: Type, Area, Price. Includes A-type (68.37m²), B-type (60.21m²), and D-type (92.34m²).

我が子を虐待する母親への援助



社会福祉法人子どもの虐待防止センター
専任相談員 野村 一枝

子どもの虐待防止センターが行っている「子どもの虐待一〇番」は、「我が子がかわいく思えない」、「イライラして、子どものことをなたいたり、けつたり、言葉で傷つけたりしてしまう」という母親からの相談が、たくさん寄せられている。彼女たちは、一方で子どものことを傷つけているが、もう一方ではそのことで自分を責め、かつ子どもの将来を考えると不安にさいなまれている。そして、そのことを誰にも話すことができないでさらにつらくなり、そのイライラをまた子どもに向けてしまうという悪循環のなかにはまり込んでしまっている。

印してきた心の奥の扉を開けてしまふことがある。子どもの頃に傷ついたり、心の奥に寂しさやつらさがぎっしりつまっている母親の場合には、出産と同時にそれらの感情が噴き出してくると、自分でも訳の分からない状態になってしまう。また、未熟児や多胎児、障害児などのようないわゆる手のかかる子どもたちの場合、母親は他の母親以上の負担を負うことになる。

最近、児童虐待がマスコミでもたびたび取り上げられるようになり、虐待の存在自体がクローズアップされるようになった。今後、医療機関も児童虐待に関わる機会が増えてくると思われる。そこで、医師として関わる可能性の高い場面を中心に、児童虐待に関する法的な問題について、簡単に説明する。

児童虐待の法的背景



東京弁護士会
弁護士 渡邊 淳子

『子どもの虐待一〇番』
☎ 〇三三五三七四一二九九〇
月・金曜日 10時~15時
土曜日 10時~1時
(日曜・祭日はお休み)

師に確定的な判断をすることを求められてはいない。また、通告することは医師としての守秘義務に反するのではないかとこの疑問が生ずる。しかし、理論的に、通告は、「正当な理由」に基づく事実の開示であるから、守秘義務に反するとはいえない。運用上も、厚生省は、医師による虐待通告は、守秘義務違反にあたるものではない旨の通知を出している(平成九年四三四号通知)。

平成12年度公開講演会のお知らせ

日時 平成12年6月25日(日) 午前10時~11時30分
会場 高知市・新阪急ホテル
演題 体の中をのぞいてみましょう
講師 埼玉医科大学放射線科教授 平敷淳子
皆様の参加をお待ちしております。

主催 日本女医会高知県支部

虐待の通告があると、児童相談所が、虐待の存在について調査を行う。この際、医師の診断書を求める場合がある。この場合も、必ずしも、確定的に虐待である旨の診断書を作成する必要はない。「虐待の疑い」でも十分である。被虐待児を児童養護施設等に措置することが必要だが、親が同意しない場合は、家庭裁判所の承認が必要となる。家庭裁判所の判断資料としてカルテの開示を求められることもある。カルテは、「故なく」開示することが禁じられているのであるから、虐待が疑われる場合に、児童相談所あるいは家庭裁判所に開示することは違法ではない。被虐待児の保護のために医師の協力には非常に重要である。積極的な協力をお願いしたい。

ては父親もするものだ、と。もっとも離婚の多いアメリカではシングルペアレントも多かったのだ。

さて帰国してみても日本の現実。母親ばかりが子どもの世話をし、父親たちは遅くまで仕事。父親の背中をみたくも父親が帰ってくる時には寝ている子供たち。振り込みの給料で給料運び人さえなくなつた父親。せっかく大学で勉強して仕事場で経験を積み上げて子供を生むとすつかり家庭の人となつてしまふ母親。医師の養成には莫大な労力と費用がかかっているのに……。これだけののだからか、と悩んだ脳外科医。妻がフルタイムの研究者になつたのを機会に「趣味は家庭」を言言して「妻が遅くなる時は早く帰る」を実践する。結構肩身がせまい。なによりいろいろな社会制度、スケジュールが子育てをする夫婦にあいかわらずやさしくない日本の現実ががっかりする。ついに「働く女医の夫の会」ホームページで不満をぶちまけることとなる。

ホームページを作るまでの経過を要約するとこんな感じになります。日本の医学生のうち女性が三割をこえ、これらの女性が女医となつていく現実。ようやく子育て支援、と厚生省が職場に託児所を設けるなどといつても、不規則な女医や女性研究者を支援するほどの制度が実際に整備されるのはまだまだ時間がかかると思われます。しかも女医と結婚している男医には「子育て支援」な

どはなく、したがって、心ならずも（？）平気で？、無意識で？）妻である女医にすべてを押し付けることになるのです。こんな悩みを相談する場所があつてもいいのではないかと思っています。いまのところホームページを見て「Brain」をいただくのは「女性V男性」で、医局での無理解に対する不満や女子医学生からの将来への不安などが多いのですが、これから女医と結婚を考えている男性からの相談もあります。こういったお便りの内容をみていて、あるいはマスクミでのいろいろな報道でも、わずかず働く女性への理解が増してきています。

「女性医師を応援するホームページ」を開設して

港支部 木戸道子

昨春秋に念願のホームページを作成し、運営しております。その名は「女性医師を応援するページ」。

私は大病院で産婦人科医として勤務しており、二児の母として責任ある勤務と家庭生活をいかに両立できるか悩み、解決策を模索し続けておりました。システムアドミニストレータ、日本母性保護産婦人科医会情報処理検討委員として情報通信に興味をもっており、インターネットやメールを利用して多くの方のご意見を伺い、お知恵を拝借してみたい



新薬づくりに、近道はありません。

いまなお未知にあふれるもの、それが人間のからだです。その人間の健康をまもる新薬の開発には、近道などは存在しません。自然界の万物に新薬のシード(種)を求め、ひとつひとつ可能性を探っていきます。知識だけでなく直感もものをいう世界です。気の遠くなるような手探りのすえに候補物質が見つかる、こんどは安全性の徹底した追求と有効性の確認。ひとつの新薬づくりに費やされる歳月は十数年、確率は一万分の一といわれています。私たち三共は、これからも優れた新薬を開発するために日々努力を続けてまいります。

世界の人々に新薬で貢献したい。三共



三共株式会社

インターネット講習会

埼玉支部 吉崎喜美子

平成12年1月9日、10日の連休に女医学会主催のインターネット講習会が開かれました。会場は、東京渋谷の東芝、宿泊は京王プラザでした。三十人の予定が倍の六十人になり、二教室になりました。出席者が何と七十歳代が多く、いかに新しいことに積極的なのか驚くとともに、その勉強熱心な熱意にあおられました。それだけでも出席したことが有意義でした。最高年齢が八十五歳、私と一緒にの先生はもう使用していらつしやるのか、何も知らない私など恥かしくなりました。

働く女医の夫の会

藤巻 高光

二人の若い女性指導員のもと、久しぶりの勉強で大変だろうと覚悟していたのに、少しすると、「ハイ、ティータムです」高年齢だからすぐお茶のかしらと、かんぐつてしまいました。

指導の方も驚いたようです。先輩者が多いので、とても良いふんいきでした。

教え方はとても丁寧で、疲れるだろうと思つて出席しました。ただ、一台に二人だったので首と肩が疲れました。人間てまっすぐでないと思ふのだからとつまらないことを考

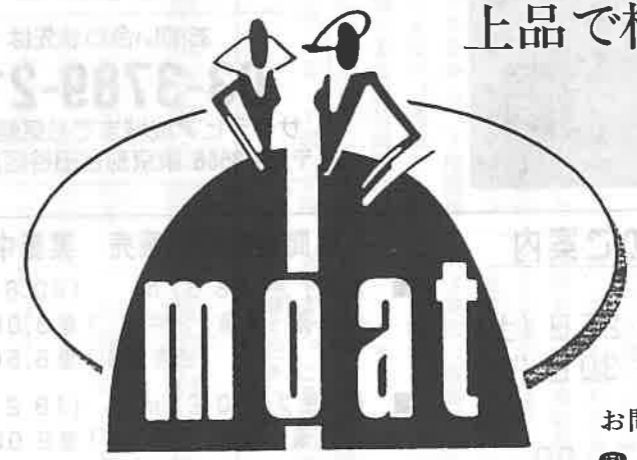
「働く女医の夫の会副会長」これが私のインターネットの上での別名です。「働く女医の夫の会」は日本女医学会とはちがつて社団法人でもなければ事務局もありません。もちろん会則もなければ会費もなく、私が勝手にインターネットのホームページを立ちあげて作つてしまつた会です。これまでの歴史を教科書ふうに見せてみます。

そして先輩の先生方の熱意と向上心に力をいただいて、何か幸せな講習会でした。

後輩の先生方の優しさがとても暖かく感じられました。講師の方々がやはり前向きな生き方だとしみじみと感じ居る二日間、何かまとまりのない感想で恐縮です。

最高の素材から生まれる

上品で格調ある装い



株式会社モート (フレタポルテ・オーダーメイド)

お問い合わせ・・・ 03-3401-3183 (AM10:00~PM6:00日曜・祝日除く)

弊社ショールーム

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-37-2-102

医療功労賞は読売新聞社主催、厚生省、日本国際連合協会、日本テレビ放送網の後援、エーザイの協賛で毎年選考されている賞で、「国内部門」と「海外部門」があります。国内部門はさらに地方推薦と中央推薦があり、中央推薦は複数票にまたがって広域な活動をしている人、もしくは全国の模範となる活動をしている人の中から、中央選考委員会が特に功績を認められた若干名が表彰されることになっております。平成11年度から日本女医学会も中央推薦機関として

山崎倫子先生、第28回医療功労賞受賞!!

認められましたので、山崎倫子会長を推薦いたしました。2月に厚生省内で行われました中央選考委員会の最終審査を経て、3月8日に受賞者の発表があり、山崎先生が中央推薦部門の医療功労賞を受賞されました。今回は山崎先生お一人でした。中央表彰式は3月17日(金)11:00、13:00、東京・帝国ホテル「富士の間」で行われました。日本女医学会からも橋本会長はじめ数名が表彰式に出席させていただきました。山崎先生おめでとうございます。

『種痘法に見る医の倫理』を書いて

宮城支部 小田 泰子

平成5年に東北大学に大学院が新設された。従来の大学院と異なり学部を持たない大学院である。文部省の方針として社会人を入学させることが設置条件につけられたと聞いた。思い立って受験し、幸いにも合格を許され、国際文化研究科に社会人学生として入学した。

業績を調べ「ヘボンとその時代」として論文を書いた。ここで、歴史の面白さ、古い資料を探る楽しさを知った。迷わず後期(博士)過程に進んだ。ヘボンについてはこれ以上の資料を得ることは不可能であると判断し、新たにテーマを「種痘法の歴史」とした。

際して多くの論争がなされたことを知った。種痘法というのは天然痘に罹った人の膿をそのまま人に接種する方法である。この方法が最初に記載され

たのは、イギリス王立協会の機関誌『哲学期要』上で、トルコ在住の医師によるものであった。この報告がなされた二年前の1712年には、フランス皇太子夫妻が、1714年

にはイギリス国王スチュアート家アン女王が天然痘で死亡している。このためにイギリスではスチュアート家が継承することになった。このよ

〈東京女子医科大学第19回公開医学講座〉のお知らせ

子供の虐待が問題になっております。子供の虐待は決して特別の出来事ではありません。明るい将来を子供達に約束するためにも、子供の心の成長過程について医師以外の方々にも正しい理解をしていただきたく、公開講座を企画いたしました。多数のご参加をお待ちしております。(東京女子医科大学医学部 小児科教授 大澤真木子)

テーマ：2千年紀の子供達のために！
日時：平成12年5月20日(土) 13:15~16:15
会場：東京女子医科大学 弥生記念講堂
対象：一般医家、コメディカル、医療関係の学生、教育関係者
参加費：無料

■プログラム

- 13:15~14:50 第1部「今話題になっている子供の心と体」
 - 1) 今の生活習慣と健康障害 東京女子医科大学第二病院 前小児科教授 村田 光範
 - 2) 今の子供はなぜ「キレル」のか—健全な子供の心の成長— 川崎医療福祉大学 教授 米国ノースカロライナ大学医学部 精神科 臨床教授 東京女子医科大学 元小児科非常勤講師 佐々木 正美
- 14:50~15:10 — Coffee Break —
- 15:10~16:00 第2部「子供の虐待について真実を知ろう」 子供の虐待防止センター 坂井 聖二
- 16:00~16:15 質疑、討論、まとめ

*日本医師会の生涯教育講座に認定されていますので、ご希望の方に参加シールをお渡しします。

お問い合わせ先：東京女子医科大学 医学部学部学事課 公開講座係
〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 ☎03-3353-8111 内線22113-4
homepage: http://www.twmu.ac.jp/

小田泰子著 『種痘法に見る医の倫理』を読んで

都下東支部 野澤 良美

影響をおよぼしたフランス・イギリス間の心理的確執の存在を知り、歴史をみる目がひろがった感じがする。

療など新しい医療に対して論争が行われているが、この論争と人痘法論争とは、共通する点が多いといふことも大きな発見であった。

体的にいくつかの問題をあげていますが、この中で一番重い問題は、ドナーの死を前提とした臓器移植であろうと思われまふ。ドナーが脳死になれば生き返る可能性は極端に低い

うな事情のためか、時のイギリス王家、特にウエールズ公妃は天然痘子防手段の受け入れに積極的で、囚人と孤児への接種実験を行った後に王女らに人痘接種を受けさせた。

い身分の低い女がしている術を医療として受け入れることは医学を冒瀆するものである。接種量も接種方法も確立されていない。天然痘子防ではなくて、天然痘の毒をばらまく術である」と人痘法を拒否した。

小田泰子先生とは以前日本女医学会理事としてお親しく一緒にすごさせていただきました。このたび、ご著書を拝読させていただきました。

で論じられています。小田先生は恐らくこの分野では世界の最先端に属する研究者であろうと思えます。読者の中には既に過去に埋もれている人痘法の研究が、未来の医学にどう

一人の人間の生命を確実に奪うものではない点で一人の死を前提とした治療よりは、いくらか深刻さが薄い。臓器部分移植では、ドナーが多少の危険と苦痛を覚悟すればそれで良い

また、医師たちは「トルコ」という気候も宗教も異なる地で医学知識のな

また、現在、臓器移植や遺伝子治療など新しい医療に対して論争が行われているが、この論争と人痘法論争とは、共通する点が多いといふことも大きな発見であった。

その他、著者があげている難問は一人の人間の生命を確実に奪うものではない点で一人の死を前提とした治療よりは、いくらか深刻さが薄い。臓器部分移植では、ドナーが多少の危険と苦痛を覚悟すればそれで良い

また、クローン人間の問題はそれ以上に現存する人間の危険は少ない。ただしクローンの場合、ある人の一卵性双生児が出生する結果になり、

次に第八章までを通過すると、昔の人類のベストにも比べられる難敵であった天然痘に対して、最初人痘法が発見され、次第に牛痘法に押されていったいきさつが、全世界的規模

最終章が触れている現代医学の諸々のジレンマも超難問です。著者は具

い人間にも「神の摂理に反する」という感じがするのです。これはやらない方がいいと思うのですが……。

私は、小田泰子先生のこの著書を二十一世紀の医学にいろいろのヒントを与える一大労作と考えます。医学者以外の医学倫理、あるいは人の倫理に関心ある方々も一読されることをおすすめしたいと切に願っております。

『心はいつも元氣印』に思う

小澤裕子著

宮城支部 佐々木和子

これは、まさに波乱に富んだ、しかし一見爽やかで、素直で、前向きな半生記である。次は？そして？と心促され、一気に読み終えた。いきなりの乳癌のお話に心痛む前半。目に見えて不気味な症状と研究生活との折合いを、ぎりぎりの線で行く。学会発表、一転入院するや医師を信頼してすべてを委ねる闘病態度に深い共感を覚えた。私も同じ立場なら、同様に振る舞ったかもしれないし、そうありたいとも思う。ご両親の苦しく、悲しく、苛立たしいご心中、想像するに胸詰る思い

長与専吉先生の「松香私志(上、下)の復刻版を記念としていただいた。目を通すことができ、夢のようでした。教室の歴史として、安政5年(1858)5月7日神田お玉ヶ池松枝町統きの元誓願寺前に「お玉ヶ池種痘所」が開設され、江戸において初めて組織化された種痘事業を行った。現在の東京大学医学部の端緒である。と記されており、医学部と種痘所の開設が同日であることに、何か遠い昔に思いをいたしております。

帽する。たとえば、私などが同じ道を歩もうとすれば、見た目にもガツガツと険しく、周辺に神経を遣う余裕を欠いてしまふに違いない。著者は何ら無理を見せず、わが道を着々と進まれる。なかなか真似のできない話である。ここで、ちくりと胸を刺す言葉の幾つかを拾ってみる。目標を持つことの大切さは、既に身に沁みている。世の中、目標を見出せぬ人のいかに多いことか。目標はあっても、挫折する人、早々に諦める人も多からう。もともと残念なのは自分の希望を、大それた夢、扱いにして、具体的な目標につなげない人々で、今までの日本人、特に東北人にはことの外、多いように思える。

アメリカの研究室のお話も、大変興味深かった。若くして大病を患われ、一度は失意のどん底にあった方が、心中に渦巻く諸々を前向きに振り切り、振り切り昇華させて出来上がったのがこの本である。冒頭に、「一見」と表現したのは、この大変な心の作業の果ての爽やかさと素直さに気づいたからである。病後の路線変更後のわが道に、再び大きな意義をつけようとする努力に、心からのエールを送りたい。また視角を変えて始められた勉強の成果が、かつて経験された診療最前線にフィードバックされるものと期待している。われわれもそれを受けて、「患者さんを裏切らない存在」としてがんばりたい。

北里評伝劇『怒濤』を観て

神奈川支部 稲生 襄

黄熱病で若くしてアフリカで他界された野口英世については医師でなくともたいの日本人は知っている。福島県に立派な記念館も出来ている。しかし、ペスト菌を発見した細菌学者で世界的に有名だった北里柴三郎については、詳しくは知らない人が多い。2000年年度の新聞に森本薫の三部作の一つとして北里評伝劇『怒濤』が今回で三年目の新年を迎える渋谷区の新国立劇場(JR新宿駅南口より地下鉄京王新線に乗り一つ目の初台中央口下車、徒歩一分)にて上演されていることを知った。何としても見たいと思いついに1月15日決行し得たので書かせていただく。北里がジフテリアの血清開発に取り組んでいる四十歳過ぎから、慶應義塾大学の医学部初代科長になる六十歳過ぎまでの半生を三時間足らずで知ることができた。伝研ができたころは近隣住民からの立ち退き要求に困っていた。そんな折、北里の娘善子がジフテリアに感染、試作段階のジフテリア血清を妻の反対を押し切って注射、一命をとりとめた。これですっきり近隣の信用を得、事なきを得た。「信長」を好演した高橋幸治は体格もよく適役、二十年前NHK朝ドラの「マア姉ちゃん」を演じてたちまち有名になった熊谷真実もすっかり中年のよき女優となり、初めは不安な細君だったが後年は夫をよりリードするようになり、「女は怖いよ、この頃はすっかりリードされている」と言わしめるように頼りがいのある妻であり、母であった。な

かなかうまかった。「怒濤」という劇は昭和19年5月文学座が初演している(森雅之、杉村春子主演)。そして昭和46年北里大の要請による文学座特別公演においても北村和夫、杉村春子主演で上演している。

さて、北里先生の一生を、購入したプログラムより簡単に紹介する。熊本県阿蘇郡に生まれ、志望は軍人あるいは政治家であった。医者とは坊主は男子一生の仕事に非ずと豪語していた。熊本医学校に入学したのは理由はあった。当時、外国語を学ぶことができるのは外国人教師が教える医学学校だけで、外国に勝つためには相手の国の言葉を知らなければならぬと思っただけである。オランダ人医師マンズフェルトは、医学が無用な学問ではないことを説いた。ある日、組織学の授業で顕微鏡下に肉眼では見えない細菌や細胞を見た。北里は医学の計り知れない領域に魅せられ、「医学また学ぶに足る」と医学の虜になった。マンズフェルトに東京医学校(後の東京大学医学部)へ進学することを勧められたが、学費の心配があるので内務省の高官宅に寄寓し、翻訳やミルクプラントでアルバイトをしながら通学し、卒業後はミルクプラントの社長の二女と結婚した。

北里の大学卒業の前年に結核菌、翌年にコレラ菌がコッホにより発見された。東大新卒の医学士は月給二百円で地方の県立病院長や医学学校長となつたが、北里は細菌学を知つて、この日本の公衆衛生状態の改善向上を図ろうとして月給七十円の内務省衛生局に入った。これは数々の功績を残したドイツ留学後でも英米の大学や病院、研究所から厚遇で誘いがあつても断つて日本の衛生行政の向上に尽くしたいと思つていたのである。北里の留学期間は三年であったが、研究に対する執念のために二年延長してもらつた。その間に破傷風菌の免疫血清療法を開発した。五年が経ち帰国が迫っていたが、コッホはツベルクリンの研究の最中であり、免疫血清を完成させるために、北里にもう一年残るよう要請した。これに對しては明治天皇の奨学金が貰えることになり、もう一年ドイツに留まり、コッホの下でツベルクリンの研究を続けることができた。

もなく出された。北里は憤激し、伝研を辞することとした。ところが門下生他すべてのものが諦めると言い出した。そこで自費で北里研究所を誕生させた。そのとき六十一歳であったが、弟子とともに日本の公衆衛生、伝染病の撲滅のために再び立ちあがった。その後、慶應義塾大学初代医学科長にもなり、また日本医師会創設にも寄与、初代会長として活躍した。将に不撓不屈、怒濤の人生であった。北里はこのように私心のない立派な人であったが、同時に自身の中の怒濤のごとき光を蔵す

私の大学〔高知医科大学〕

高知支部 奥谷 文乃

日本経済が華やかになりしころ「一県一医学部」政策により、わが高知医科大学も昭和53年に設立されました。同時に開校した医大には佐賀医大、大分医大があります。初代学長・平木潔先生による建学の精神は「敬天愛人」です。キャンパスは南国市の田園地帯にあり、周囲は緑に囲まれ療養、勉強に適した環境です。私はその一期生として、昭和59年に前代未聞の国試合格率100%の名声の下に卒業しました。高知医大の大きな特徴は、全学に導入されたコンピュータを用いる総合情報システム(IMIS)にあります。診療面では大病院における検査指示、処方等一切、さらに教育面、研究面においても広く利用されています。さらに平成9年度には衛生を用いた大病院衛星医療情報ネットワークが四国で唯一導入されました。また県下の主要病院との情報交換なども、ますますこのシステムが活用されるものと期待されています。平成10年度からは看護学科が新設され、現在三回目の入学生を受け入れたは

新設医大という言葉も既に使われなくなった昨今においても、高知医大の使命の一つが高知県全体の医療水準の向上であることはいまでもありません。本学設立後、高知県内の医療過疎地域は減少傾向にあり、問題とされてきた高い周産期死亡率も著明に減少しました。しかしながら研究面では科学研究費の採択率も決して高くはなく、私も基礎研究者の一員として、まだまだ奮闘しなくては行けないと考えています。また本学は国際交流にも力を入れています。プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)および佳木斯(チャムス・中国)大学との単位互換制度があり、学生も毎年八名ほど短期留学しています。全国の医学部(医学科)入学者のうち女子の占める割合の増加は、本学においても例外ではなく、平成10年度にはついに逆転しました。看護学科も九割以上は女子であり、一昨年度女子の割合はさらに増えました。学内教官にまだまだ女子の少ない中、私も彼女たちに、女医の待遇・将来についてなど少しでも有用な示唆ができる教官・先輩になりたいものだと日々考えています。また、ご高聞いただいた池田久男学長も本学医学科に一日も早く女性教授が誕生するのを待ち望んでおりました。

理事会議事録

日時：平成11年11月27日(土) 午後3時

場所：日本女医学会事務局
出席者：橋本、石原、橋川、大坪、栗原、佐々木、鹿田、澤口、清水、田中、西嶋、久田、松井、丸茂、村田、吉崎、中濱、野澤(以上18名)
欠席者：加藤、大澤、青井、川田、佐藤、平敷、松本、宮原(以上8名)

10月理事会の議事録を承認。
議事検討事項
一、庶務報告 清水理事
別紙どおり報告—承認。鹿田理事より、11月14日に開催した「第2回アロック別懇談会」について報告があった。

二、会計報告 栗原理事
平成11年10月分収支別紙どおり報告—承認。また、現在までの会費納入状況の説明があった。

三、各部報告
【広報部】 村田理事
・第160号会誌は発送済み、次号は来年1月25日に発行予定。
【学術部】 西嶋理事・10月13日WH O主催「グローバルシンポジウム暴力と健康」に出席の報告。
【事業部】 丸茂理事
・11月14日に開催された公開シンポジウムは成功裡に終了。
・来年1月9、10日の「パソコン教

室」は、当初三〇名の予定であったが、大好評につき六〇名(二クラス)で行うことになった。

【会長報告】
・11月6、7日開催された「国際女医学会西太平洋地域役員会議」の報告。
①各国での会員確保の方法が紹介された。
②2001年、オーストラリアでの国際女医学会のサークュラーは今年中には送付される予定。会場はシドニー・ヒルトンホテル。
③2002年、西太平洋地域会議は台湾の台中で開催。
④2001年に開催予定のアメリカ女医学会とのジョイントシンポジウムに各国に協力を要請した。
・吉岡彌生先生の記念切手が来年9月頃発行される事になった。
・各大学の連絡担当を依頼した会員より、受諾二六名、不可六名の返事があり、二八名より返事がなかった。1月の学術講演会より学内の連絡をお願いする。また女医学会のホームページをリンクしたいとの希望が大学連絡担当を引き受けて下さった会員よりあり、許可する。
・以前討議されたペルー医療技術者の研修の件は、「記念病院支援の会」を設立し、募金目標額を三、〇〇〇万円として本格的にスタートする。
・高知支部より来年6月開催する「公開講演会」を本部で企画して欲しいとの要請があった。基本的には地域の特徴を生かすため、そして予算面でも支部主体であるので、その

旨連絡し、再度要請のあった場合は協力する。

四、2004年国際女医学会の件
・世界医師会はおおよそ七ヶ国、三〇〇人規模との事なので、国際女医学会は独立して開催する。
・「場所・日時・テーマ」を各自次回理事会まで考え、開催地の最終決定をする。
五、一〇〇周年記念事業の件
・来年の総会後より本格的にスタートさせる。
六、吉岡彌生賞、荻野吟子賞推薦について
・現在の所、吉岡彌生賞医学部門に一名ある。吉岡彌生賞社会部門および医療奉仕への助成には推薦の希望がある。
七、定時総会について
・5月20日(土)京王プラザで行う。
・東京都支部連合会で催し物について計画。
・総会の特別講演会を田中真紀子氏にお願いする事になり、松井理事に交渉を依頼する。
・以前より懸案になっていた来年度役員選挙は、厚生省に問い合わせても明確な回答が得られないので、従来通りに行うことに決定する。
八、その他
・村田理事より特別相談で協力する「女性と仕事の未来館」の打ち合わせ会に出席の報告。
・職員賞与について—昨年と同額とする。

理事会議事録

日時：平成11年12月18日(土) 午後3時

場所：日本女医学会事務局
出席者：橋本、石原、加藤、青井、大坪、栗原、佐々木、澤口、鹿田、清水、久田、平敷、松井、丸茂、宮原、村田、中濱、野澤(以上18名)
欠席者：橋川、大澤、川田、佐藤、田中、西嶋、松本、吉崎(以上8名)

11月理事会の議事録を承認。
報告事項
一、庶務報告 宮原理事
別紙どおり報告—承認
二、会計報告 栗原理事
平成11年11月分収支別紙どおり報告—承認。現在までの会費納入状況の説明があった。

三、各部報告
【事業部】 丸茂理事
・1月9、10日に開催のパソコン教室はキャンセル待ちも出ている。第2回開催も考慮中である。
【広報部】 大坪理事
・第161号会誌の割付け会議を12月20日に開催予定。
・前回の理事会で審議された会誌広告掲載の件について検討する。趣意書・申込書等、広報部一任とされる。
【学術部】 平敷理事
・第13回ワークショップは案内を会

員に送付し、順調に準備中。

協議事項
一、2004年国際女医学会の具体案について
・開催地は第一候補が福岡、日時は7月8日(木)〜11日(日)とする。
・メインテーマについて検討したがまとまらず、次回理事会まで学術部で原案を作る。
・2004年の国際女医学会に立候補する旨、MWIA本部に意思表示をする。
二、定時総会について
・評議員会9:30〜12:00、選挙13:00〜14:00、講演会14:00〜15:00、総会15:00〜17:00、懇親会18:00より開始し会費一万円とする。
・講演会の講師は未定。もし決まらない場合は「生命」のビデオの鑑賞をしても良いのではとの意見もあった。
三、各賞選考委員会開催日について
・2月26日(土)の理事会当日の2時から3時まで開催。
四、その他
・MWIAの次々期会長にニュージーランドのDr. Maxwellを推薦する。
・橋本会長、石原副会長、平敷理事が各々日経新聞社のインタビューを受け、誤った内容の記事となり、抗議をした。
・全女性医師を対象とした実態調査を行い、2004年の国際会議に発表してはとの意見が橋本会長よりあり、助成金の申請を今年度中に行う。宮城県女医学会でも実施予定との事



HMG-CoA還元酵素阻害剤
指定医薬品

セルタ錠

0.1・0.15 (セリバスタチンナトリウム錠)

禁忌(次の患者には投与しないこと)
 (1)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
 (2)重篤な肝障害のある患者
 (3)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦

原則禁忌(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)
 腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者に、本剤とフィブラート系薬剤を併用する場合には、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ併用すること。

効能・効果
 高コレステロール血症
 家族性高コレステロール血症

用法・用量
 通常、成人にはセリバスタチンナトリウムとして0.15mgを1日1回経口投与する。
 なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は1日0.3mgまで増量できる。

使用上の注意
 ●慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
 (1)アルコール中毒者、肝障害又はその既往歴のある患者
 (2)中等度以上の腎障害のある患者又は重篤な腎障害の既往歴のある患者
 (3)フィブラート系薬剤(ベザフィブラート等)、免疫抑制剤(シクロスポリン等)、ニコチン酸を投与中の患者
 ●重要な基本的注意
 本剤の適用にあたっては、次の点に十分に留意すること。
 (1)適用の前に十分な検査を実施し、高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症であることを確認した上で本剤の適用を考慮すること。
 (2)家族性高コレステロール血症のうち、ホモ接合体については本剤では検討されていない。
 (3)あらかじめ高コレステロール血症治療の基本である食事療法を行い、更に運動療法や高血圧・喫煙等の虚血性心疾患のリスクファクターの軽減等も十分考慮すること。
 (4)投与中は血中脂質値を定期的に検査し、治療に対する反応が認められない場合には投与を中止すること。

副作用
 承認時までの調査では、916例中176例(19.2%)に臨床検査値の異常を含む副作用が認められている。以下の副作用は上記の調査等で認められたものである。
 ●相互作用
 (1)原則併用禁忌(原則として併用しないこと)
 腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる患者では原則として併用しないこととするが、治療上やむを得ないと判断される場合にのみ慎重に併用すること。
 フィブラート系薬剤 ベザフィブラート等(腎機能に関する臨床検査値に異常が認められる場合)
 (2)併用注意(併用に注意すること)
 コレスチラミン
 イトラコナゾール、エリスロマイシン
 フィブラート系薬剤 ベザフィブラート等(腎機能に関する臨床検査値の異常を認めない場合)
 免疫抑制剤 シクロスポリン等、ニコチン酸
 ●副作用
 承認時までの調査では、916例中176例(19.2%)に臨床検査値の異常を含む副作用が認められている。以下の副作用は上記の調査等で認められたものである。
 ●重大な副作用
 1)筋肉痛、脱力感、血中CPK上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症(頻度不明)があらわれ、これに伴って急性腎不全等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、このような場合には直ちに投与を中止すること。
 2)ミオパシー(頻度不明)があらわれることがあるので、広範な筋肉痛、高度な筋脱力感や著明な血中CPKの上昇があらわれた場合には投与を中止すること。

■使用上の注意の詳細については、添付文書をご参照ください。

CERTA 薬価基準：収載

武田薬品工業株式会社
 〒540-8645 大阪市中央区通修町四丁目1番1号
 ホームページ <http://www.takeda.co.jp/>

ある。

(庶務部担当) 鹿田、清水、宮原
以上

理事会議事録

日時：平成12年1月22日(土)

午後1時より

場所：京王プラザホテル

出席者：橋本、石原、加藤、橋川、大澤、栗原、佐々木、澤口、鹿田、清水、田中、西嶋、久田、平敷、松井、丸茂、宮原、村田、吉崎、中濱、野澤
欠席者：青井、大坪、川田、佐藤、松本 (以上5名)

12月理事会の議事録を承認。

報告事項

一、庶務報告 清水理事

別紙どおり報告 承認

二、会計報告 栗原理事

平成11年12月分収支別紙どおり報告

承認。また、現在までの会費納入状況の説明があった。

三、各部報告

【事業部】 石原副会長

・1月9、10日に開催された第1回パソコン教室は大成功裡にて終了。

・第2回目を3月19、20日に初級・中級の二クラスで開催を検討中。

【広報部】 村田理事

・第161号会誌の校正会議を1月14日に開催。25日に出来上がる予定。

・広告募集の案内を配布し、協力を依頼。

【学術部】 大澤理事

・本日開催のワークショップには八三名、懇親会には五二名申し込みがあり、学生も若干名出席予定。

【その他】

・年金委員会について1月15日に野村証券と話し合い女医会にとってメリットのある商品を考えてもらう事となった。

・年金手数料の残金の取り扱いを検討した。

・高知支部の公開講演会について6月25日予定の高知県女医会主催公開講演会の講師を平敷理事に願う。前に四国女医会、高知県女医会のパティーがあるので、多数の理事の出席を強く要請。

・「いきいき」への執筆について執筆依頼に関して問題も出てきているので、改めて契約をし直す。

協議事項

一、平成12年度事業計画案および予算案の件

・庶務部 ブロック別懇談会の予算を組み入れる。

・事業部、渉外部、広報部、学術部ともに予算は前年度と同様との希望があった。

・会計部より 今年度の残高は例年より多額であろうとの予想であるので例年通りの予算が組めるのではないかと報告が出された。

二、第45回定時総会(於東京)の件

・総会時の講演会の講師として田中真紀子氏を、石井道子秘書を通じてお願いする。

・選挙は定款通り行う。

・選挙管理委員は五九名、東京、神奈川、埼玉、千葉各支部より選出する。

・バザーは行う。会誌に寄付の呼びかけをした。

三、2004年国際女医会の件

・福岡支部より福岡での開催は不可能との返事があり、次の候補地を検討し、全員賛成で東京に決定。

・JTB虎ノ門支店で学会設営の部署があり、今回の理事会で説明を受ける。会場として日本医師会館の使用も考慮に入れる。

四、その他

・WHOより4月5、7日淡路島で「女性と健康に関する国際会議」開催の案内あり、加藤副会長が出席。

・日本看護協会より「准看護婦の養成停止・看護婦養成制度の一本化を求める署名運動」に協力の要請があったが、女医会としてはせずに、個人で協力することに決定。

・Medical on lineより「補助金・助成金案内依頼」があり、無料につき女医会の研究助成を記載してもらう。

・自民党より「女性関係団体代表者との新年懇談会」の案内があり、2月7日に橋本会長と松井理事が出席予定。また大阪府知事に応援の要請があった。

・会誌広告について一回につき六社(全面広告二社、2/5広告を四社)を予定している。

・橋本会長より「女性と仕事の

未来館」落成披露パーティー出席の報告。

以上
副会長(庶務部担当) 橋川
鹿田、清水、宮原

会員動静(敬称略)

新卒入会
佐々木聡子 兵 庫
入会
善如寺恵子(昭和60年卒) 群 馬
野澤 明子(昭和34年卒) 板 橋

集 記
編 後

○ミレニアムの年を歩み始めました。1913年「日本女医会雑誌」創刊、歴史を重ね、戦時下の発刊不可能時も乗り越え、1958年「日本女医会誌」と改称復刊、本誌で一六二号を数えるにいたっております。

○低迷する日本経済の流れの中で、初めて当誌も広告の掲載にふみ切りました。快く賛同くださいました各企業に、感謝いたします。

○山崎倫子元会長が、読売新聞主催第28回医療功労賞を受賞されました。現会長が初めて推薦し受賞、会の歴史を思う時、吉報はことさらにうれしく、胸に迫るものがあります。

○本号に初めて「働く女医の夫の会副会長」男性より支援の投稿を頂きました。ご意見ありがとうございました。

渡辺 久子(昭和48年卒) 新宿
安藤由美子(昭和60年卒) 練馬
定本 清美(平成3年卒) 神奈川
浦 希未子(平成6年卒) 和歌山
退会 十二名
物故
山田 花子(昭和24年卒) 大田
加藤 澄子(昭和5年卒) 新宿
富山佐起子(昭和25年卒) 都下東
摺沢 澄子(昭和16年卒) 都下東
庭山 昌子(昭和9年卒) 新潟
藤田 とし(昭和25年卒) 愛知

日本女医学会誌
第161号

平成12年4月25日 発行

編集人 大坪 公 子
発行人 大橋 本 剛
制作 金剛 剛

発行所 社団法人 日本女医学会

東京都渋谷区渋谷2-8-7
青山宮野ビル 電話 03-3498-0571
〒150-0002 FAX 03-3498-8769
http://www.jade.dti.ne.jp/~jmwa/
e-mail address: jmwa@jade.dti.ne.jp